

中央環状品川線大橋連絡路工事

発注者 : 首都高速道路(株) 東京建設局

施設所在地 : 東京都品川区

調査見学時期 : 平成 24 年 9 月 4 日 (火)

工事概要

首都高速道路(株)東京建設局が整備する中央環状品川線のうち、大橋ジャンクションへの連絡路トンネルを構築する大橋連絡路工事であり、山手通りの支線に開削部を設けて、その先端からシールド工法により連絡路トンネルを構築し、大井方向からの本線シールドトンネルとの間を地中で切開いて分合流部を構築するものです。切開く品川線本線（外径φ12.3m）と大橋連絡路（外径φ9.5m）を鋼殻で接合する新しい覆工構造を取り入れ、断面が変化する分合流部に対応しております。

今回の見学では、連絡路シールド（外径φ9.5m）の中から分合流部の拡幅部を見学しました。内部には事前に切り開き部の補強材が設置されておりました。また、狭隘部、三次元的に輻輳した中での高精度な施工には、改めて土木技術の高さを認識しました。（GECニュース第277号より抜粋）



拡幅区間現況